

[参考] 先月からの主要変更点

	6 月月例	7 月月例
基調判断	<p>景気は、弱さを脱する動きがみられ、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業収益は改善し、設備投資は緩やかに増加している。 ・個人消費は、持ち直している。 ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。 ・輸出、生産は横ばいとなっている。 <p>先行きについては、企業部門の好調さが持続する中で、家計部門も改善しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる。一方、情報化関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要がある。</p>	<p>景気は、弱さを脱する動きがみられ、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業収益は改善し、設備投資は緩やかに増加している。 ・個人消費は、持ち直している。 ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。 ・輸出、生産は横ばいとなっている。 <p>先行きについては、企業部門の好調さが持続する中で、家計部門も改善しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる。一方、情報化関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要がある。</p>
政策態度	<p>政府は、<u>これまでの改革の成果の上に立って、重点強化期間において「攻めの改革」に踏み出すため、6月下旬を目途に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（仮称）をとりまとめる。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、重点強化期間におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、<u>政策努力を更に強化する。</u></p>	<p>政府は、<u>6月21日、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」を閣議決定した。今後、本基本方針に基づき、構造改革を加速・拡大する。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、重点強化期間におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、<u>政策努力の更なる強化・拡充を図る。</u></p>

	6 月月例	7 月月例
業況判断	<u>慎重さがみられる。</u>	<u>緩やかに持ち直している。</u>

(注) 下線部は、先月から変更した部分。